

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立名草小学校
作成日	平成26年2月7日

1 教育目標

心豊かで たくましく生きる子ども

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	1 地域との連携 2 保護者や地域のニーズをふまえた教育活動 3 外部講師等による学びの広がり 特になし	1 読書活動の推進 2 挨拶の定着 3 教育環境の充実 特になし	1 表現力・思考力を育てる授業の充実 2 基礎的基本的な内容の確実な定着 3 新しい教育に対応できる研修の充実 特になし

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・開校150周年に向けた集会を公開したことは、今後、ますます地域との連携が充実することにつながると思う。 ・親子や地域の方を児童と一緒に活動する子どもセンター事業は、今後も計画的に進められることを期待する。 ・職員の研修や児童の学習等に協力できる工場や商店、施設等の開発は好ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに気軽に読書ができるコーナーの設置は、されていると思う。 ・学校を訪れた時や登下校時、地域や見守り隊の方にも元気よく挨拶ができています。 ・ICTはじめ備品の購入や、企業のキャンペーン等からの贈呈などにより、教育環境が充実してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに基づいて、児童の反応や意見を検討し、授業の充実に向けて取り組んでいる。 ・言語力の育成に向けて、実行している。 ・長期休業中の補習や県外先進校への出張など、今後も積極的に学力向上に取り組んでほしい。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・集会の公開は、地域から学校へ行く機会が増える。ただ、寒い時期であるため、日程の検討をしてはどうか。また、良い機会ではあるが、今年度は広報が十分でなかった。 ・地場産業のメリヤス工場が児童の見学や教諭の研修に役立っている。今後は、学校の特色ある取組として続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣は、興味のある本を読むことから始まると思う。「読ませたい本」の意図は分かるが、新しい本や児童が「読みたい本」も充実させることが望ましい。 ・不審者対応のこともあり、知らない人に声をかけないようにと家庭で言われていることも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の教師の授業力向上を、積極的に進めて欲しい。 ・児童のやる気を促し、いろいろなことに挑戦するよう応援する先生が増えてきている。たくさんの体験をすることができて喜んでいる。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどで情報発信をするにしても、担当者個人では難しい。今後の対応が課題である。 ・地域で交流・見学に理解してくださる企業・施設など地域財産を生かせる教育計画を進めていくことはよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が相談できる専用の教室、パニックになっている児童が安心して落ち着ける教室の設置はよい。 ・地域の人からボランティアの協力者を募り、児童に読み聞かせをし、読書に関心をもたせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師相互に授業を参観する機会や学びノートの使い方を研修することは有効であると思われる。 ・市内外の研修内容を伝達し、全体の力を向上させるような取り組みを望む。

3 その他の課題

・登下校の通学路が狭く、車・自転車・バイク等の多く、たいへん危険である。児童への指導も必要だが、教育委員会等行政、警察への要望を検討してはどうか。

・校区は、自然に恵まれた良さがある反面、害虫や害獣(猪など)の被害も考えられる。通学時間帯には、通学路近くにお住まいの方々が近くへ外出するなど、無理なく安全確保の協力をしていただくよう自治会を通して依頼してはどうか。